

# みんなの広場



銭太鼓を持った女の子たちの踊りを中心とした行列が、田んぼの中の道を神社へと向かう『道行き』

## 愛宕権現神社秋祭り『府招の浮立』 絶やさず守りたい郷土の誇り

南波多町府招の愛宕権現神社で秋祭りがあり、『府招の浮立』が奉納されました。氏子の行列が神社へと向かう『道行き』に続き、境内では伝承される33もの演目から選ばれた15演目の『本浮立』が披露され、その一つ一つの洗練された完成度の高さと大勢の観客を魅了しました。この伝統芸能は県重要無形民俗文化財に指定されています。



『御神』(左)と『三番』で神様を迎えます



華麗な太鼓の演舞『入撥』

ユーモラスな演技が楽しい『恵比寿大黒』

## 鍋島藩祭秋まつり『献上の儀』 先人の伝統を引き継ぎ、謹んで献上します

伊万里鍋島焼協同組合による『献上の儀』が唐津城で行われました。これは、江戸時代に将軍家や諸大名などに献上されてきた『鍋島』の伝統を再現したもので、今年で30回目。伊万里市と唐津市は日本遺産に認定された肥前窯業圏の構成市町というつながりがあり、峰達郎唐津市長を城主に見立てて酒器『色絵右楯文瓶子』が送られました。



↑峰市長(左から4人目)に酒器を献上した組合のみなさん

## 交通安全マスコット人形を寄贈 交通事故が1件でも減りますように

市老人クラブ連合会女性部の皆さんが、交通安全のマスコット人形400個を市に寄贈しました。今年で26回目となります。「高齢者の交通事故が依然として多いが車は生活の必需品。だから事故がないようにと思いを込めて作りました」と話す女性部長の井手口ミサヲさん。人形は秋の交通安全運動期間中のイベントなどで配布されました。



↑深浦弘信市長(左)にマスコット人形を手渡す市老人クラブ連合会の皆さん

多文化ジョイントコンサート

言語や文化の壁を越えて心をつに

伊万里まちなか一番館で多文化ジョイントコンサートがありました。これは、市近郊に住むさまざまな国の人に、世界共通の楽しみである音楽を通して交流を深めてもらおうと、日本語教室いまりが今回初めて開催したものです。多国籍な出演者が『ふるさと』などお馴染みの曲を演奏し、来場者も自然と口ずさみながら聞き入っていました。



名村造船所のインドネシア人実習生は『島人ぬ宝』などを熱唱



10.14

↑日本の雅を感じさせる『和楽器いまり』の演奏

国際ソロプチミスト伊万里が男女協働参画啓発グッズを贈呈  
誰もが暮らしやすい市を目指して

国際ソロプチミスト伊万里が、男女協働参画の視点を取り入れた災害対策やDV防止などの啓発のため、4種類のメッセージカードが入ったポケットティッシュ1000個を市に寄贈しました。今後は、男女協働参画懇話会いまりプラザが中心となって実施する街頭啓発活動や講演会、イベントなどで配布し、理解促進に役立てる予定です。



10.1

↑隈部ヤヨイ会長(右)から深浦弘信市長へ手渡されました

おくんち料理教室

おくんちのおもてなし文化の復興を

伊万里公民館でおくんち料理教室がありました。これは、NPO法人伊万里のおくんち振興会などが、おくんちでの地域の交流文化を復興させようと実施したもので、今回で8回目となります。市食生活改善推進協議会の皆さんの指導のもと、参加者は『栗おこわ』や『にこみ』、『かけ和え』といった伝統のおくんち料理の作り方を学びました。



9.29

指導を受けながら『かけ和え』を作る参加者



↑教室のあとの試食会で並んだおくんち料理の数々

イノピカプロジェクト in 川内野

奇想天外。イノシシよけでイルミネーション

東山代町川内野で第1回イノピカプロジェクトの点灯式がありました。これは、地元地域おこし団体の川内野COME倶楽部と佐賀大学の学生のコラボレーションによる企画で、イノシシの防護柵をイルミネーションにしようというもの。訪れた人たちは、のどかな山里の夜に突如出現した電飾の通りを、興味深げに歩いていました。



9.24

↑夜の田んぼのちょっと不思議な光景に目を奪われながら散策する人たち